

注文

(番線印)

(発注者 様)

部数

冊

お母さんを支える言葉

木村泰子 著

四六変型並製 184 頁

本体 1,500 円

何度でもやり直せばいい。子育ても、自分の人生も。
お母さんを支える言葉は、人を支える言葉です。

映画『みんなの学校』(文部科学省特別選定作品)の木村泰子先生が贈る、「自分を支える何か」がほしい、すべての人へのメッセージ。

【目次】

はじめに お母さんを支える言葉は、人を支える言葉

- I 尋ねる
- II 変わる
- III 支える
- IV 見守る

おわりに 言葉のお守りがあれば、今日もまた一歩、前進できます

【本文より】

- ・いいお母さんになろうとすると、しんどいですよ。ありのままの自分であることが、一番です。
- ・子どもにとってお母さんというのは、たった一人の存在やから。
- ・子育てを自分一人で抱えこまないこと。
- ・失敗はチャンス。やり直しができるのだから。
- ・子どもに弱音を吐こう。

子育てしているお母さんたちに届けたい、言葉のお守りです。

木村泰子(きむら やすこ)大阪府生まれ。武庫川学院女子短期大学体育科(現・武庫川女子大学短期大学部)卒業。大阪市立大空小学校初代校長として、障害の有無に関わらず、すべての子どもがともに学び合い育ち合う教育に力を注ぐ。その取り組みを描いたドキュメンタリー映画『みんなの学校』は大きな話題を呼び、文部科学省特別選定作品にも選ばれた。2015年に45年間の教員生活を終え、現在は講演活動で全国を飛び回っている。東京大学大学院教育学研究科附属バリアフリー教育開発研究センター協力研究員。『10年後の子どもに必要な「見えない学力」の育て方』(青春出版社)、『「みんなの学校」が教えてくれたこと』『「みんなの学校」から社会を変える』(以上、小学館新書)など著書多数。

ぜひご検討くださいますよう、どうぞよろしくお願ひいたします。清流出版

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 3-7-1 TEL 03(3288)5405 FAX 03(3288)5340



木村泰子 著 清流出版 本体1,500円
ISBN 978-4-86029-561-5

『お母さんを支える言葉』